



伊豆の国市長  
もちづき よしかず  
望月 良和

なりません。  
このためには、子育て支援を積極的に進め、若い世代の人たちが移り住んでくれる魅力ある市にしたいと考えています。「子供の声がかかるまちづくり」です。

**伊豆は一つ**

また、伊豆の国市は、伊豆半島における位置や交通などをみると、伊豆の要衝となる地域です。

ればならないということですから。財政改革を進めることは当然ですが、市民の目線での改革でなければなりませんし、また市民のためのサービスが最優先されなければなりません。

私には、「伊豆は一つ」であるとの思いから、その基幹産業である観光の発展を推進するために伊豆として、否、日本としての観光地の在り方を再度、検討する必要があると考えています。

これまでどおり、平等、公平に物事を判断し、市民の皆さんのご理解がしっかりと得られる行政であるよう努めます。

**地域の実状を把握**

四月二十四日の選挙によりまして、初代の伊豆の国市長を任されることになりました。伊豆の国市は合併に伴い誕生したわけですが、この新市の出発点である重要なときに市政運営を任されたことの責任の重さを感じるとともに、これまでそれぞれの町の特性を生かしながら発展してきた地域の資源を糧として、伊豆の国市の発展に役立てていきたいと考えています。

と考えています。それには、まずは各地域に向向いていき、地域の皆さんと膝を交えて話し合い、その地域をより詳しく知ることから始めます。

**子育て支援の充実**

伊豆の国市の人口は、約五万人です。人口は地域の活力の指標でもあります。人口が減少するということは、その地域の衰退につながります。この五万人の人口をどのようにして維持し、増加させていくのかが、今後のまちづくりを進めるうえでの重要な鍵と

**市民のための行政**

市政運営の全体に関しては、言うまでもないことですが、「市民のための行政」でなければなりません。

**伊豆の国市  
誕生記念式典**

伊豆長岡町・菰山町・大仁町が合併し、平成17年4月1日に晴れて「伊豆の国市」が誕生しました。これを記念して、「伊豆の国市誕生記念式典」を行います。どなたでもご参加できます。

日時 7月8日(金) 14:00 ~ 16:00  
会場 アクシスかつらぎ  
内容 合併功労者の表彰、感謝状の贈呈、アトラクション

問合せ 総合政策課 電話 055 948 1413  
\*詳細は、広報いずのくに6月15日号でお知らせします。

**市議会構成**

5月12日に開催した臨時会で正副議長選が行われ、議長に岩崎氏、副議長に矢田氏が選出されました。また、四常任委員会と議会運営委員会の構成も決定しました。(敬称略)



副議長  
矢田 博美



議長  
岩崎 正義

**福祉環境委員会**



水口 成男 (小坂) 柳沢 秀次 (中條) 松下 善洋 (古奈)  
飯田 史朗 (田京) 山下 孝志 (四日町) 三好 陽子 (御門)

**総務委員会**



田中 正男 (中) 大沢 秀光 (古奈) 鳥居 松彦 (南條)  
岩崎 正義 (長崎) 矢田 博美 (宗光寺) 板垣 紀夫 (大仁)

**文教委員会**



古屋 鋭治 (田京) 伊藤 泰伊 (長岡) 土屋 紀男 (三福)  
水口 哲雄 (長岡) 秋田 清 (菰山山木) 荻野 兼夫 (南條)

**観光建設委員会**



後藤 眞一 (三福) 菊池 俊彦 (四日町) 土屋 源由 (長岡)  
増島 一良 (原木) 萩原 眞琴 (北江間) 鈴木 平一郎 (奈古谷)

**議会運営委員会**

山下 孝志、鈴木 平一郎、鳥居 松彦、土屋 紀男、土屋 源由、松下 善洋、古屋 鋭治、田中 正男

は委員長、 は副委員長

問合せ 議会事務局 電話 055 948 1417